

平成19年度武蔵野市財政援助出資団体経営目標評価シート

団体名		財団法人 武蔵野文化事業団								
①	指標名	主催(共催)事業のチケット販売			目標値	完売	実績値	完売(113本)		
	過去の実績		平成16年度	平成17年度	平成18年度	達成率	100.0%	達成状況	未実施・未達成・達成	
	(単位: 本)		完売・111	完売・115	完売・115					
	取組内容	※19年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①アルテ友の会の会員数を引続き8,500名以上維持するよう努めた。 ②市民が質の高い音楽等を格安な価格で鑑賞出来るよう引続き独自招聘事業を実施した。 ③アルテ友の会会員の事業ニーズを把握し、事業展開に生かしていくためアンケート調査を実施した。								
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ○アルテ友の会の会員数は8,400名余と当初目標を下回ったが、40をこえる独自招聘事業の実施や毎月2回のダイレクトメールの発送など積極的に事業のPRに努め、主催(共催)事業のチケットを10年連続で完売することが出来た。 ○今後も事業開催ごとのニーズ調査や会員対象のアンケート調査など多様なニーズの把握に努めると共に、管理する施設の特徴を生かした事業を実施し市民文化の振興を図っていく。									
二次評価	文化事業団が実施する自主事業について、100本以上の事業のチケットを10年連続して完売するという実績を作ったことは評価に値する。円安や景気の弱りなど文化事業団を取り巻く環境は今後厳しさが増すと思われるが、職員の一層のスキルアップを図り、廉価で良質な事業を引き続き実施し、市民文化の向上に寄与することを期待したい。									
②	指標名	事業費支出の抑制(吉祥寺美術館、吉祥寺シアター一分除く)			目標値	事業収入に対する割合を85%以内とする	実績値	87.9%		
	過去の実績		平成16年度	平成17年度	平成18年度	達成率	—	達成状況	未実施・未達成・達成	
	(単位: 千円)		事業収入①	324,926	246,037					252,077
			事業費支出②	294,479	218,537					222,151
取組内容	※19年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ○市民に親しまれる多彩な事業を格安な料金で実施した。 ○独自招聘事業を積極的に進めると共に、他文化施設へ売込むなどネットワーク事業を実施した。 ○オペラ等の共催事業を実施し、増収を図った。									
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ○平成19年度の事業収入は 255,313千円 事業費支出 224,344千円と前年比較では増加しているが、抑制率では前年比0.2%減の87.9%と目標値を達成することは出来なかった。 ○支出を抑えながら収入を増やすには、自館だけの努力では目標値の達成は難しい面もあり、引続き独自招聘アーティストを他文化施設へ売込むなど連携を図り、収入増に繋がるネットワーク事業収益の増加に今後も努める。									
二次評価	事業費の歳入に対する割合を目標値の85%にまで押さえることはできなかったが、3年連続して比率が下がっており、継続的な取組みを行っていることが伺え、一定の評価はできる。事業の仕入れ価格の上昇が懸念されるが、独自招聘アーティストを他の事業者へ売り込むことなどを通じて収入増を図ると同時に、管理コストの削減にも努め、目標数値を達成できるよう引き続き努力を行うこと。									
③	指標名	人材の育成			目標値	①業務執行に必要な資格の取得や専門研修の実施 ②危機管理対応のため固有職員全員に3年間で上級救命士の資格を取得させる。	実績値	①業務執行上必要な研修に参加させた。 ②上級救命士の資格を3名に取得させた。		
	過去の実績		平成16年度	平成17年度	平成18年度	達成率	100.0%	達成状況	未実施・未達成・達成	
	(単位: 名)			3	3					
	取組内容	※19年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①公益法人制度改革に向けた各種の研修会、食品衛生責任者講習会及び自衛消防技術試験講習などに参加や資格を取得させた。 ②武蔵野市職員の必須研修である上級救命士研修に平成19年も3名の職員を参加させ資格を取得させた。								
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ①公益法人制度改革の施行に関する各種の説明会や研修会に参加し、公益認定取得に向けた準備を行っている。 ②食品衛生責任者資格が必須な施設が設置されているスイングホール在籍職員に資格を取得させ業務執行に必要な資質の向上を図った。 ③施設の管理上必要な自衛消防技術試験講習や上級救命士研修に職員を参加させ、危機管理能力の向上に努めている。なお、上級救命士研修については、固有職員9名全員が資格を有することが出来た。									
二次評価	公の施設の指定管理者として、施設利用者の安全確保は最も重要な役割の一つであり、その意味では食品衛生責任者の資格取得や上級救命士研修を実施した点は評価できる。一方で、文化施設の指定管理者の受託のみを団体の財源としている文化事業団にあつては、指定管理者として「経費の削減」、「サービスの質の向上」、「専門的な知識の活用」が同時に求められており、経営的視点から人材育成を行っていくことを期待する。									